

事業番号	06 04 01	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	生活排水施設整備事業（一般会計分）	部局	環境部	課・室	水道・生活排水課				
		実施期間	S56 ～	E-mail	seikatsuhaisui @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

・汚水処理人口普及率 98.3%（R5）
・都道府県構想に基づき、老朽化した施設の計画的な改築更新や生活排水処理施設の未普及地域の早期解消に取り組むとともに、人口動態を踏まえた施設や処理区域の広域化・管理の共同化等による持続可能な生活排水対策を推進する必要がある。

2 事業目的

快適な生活環境と良好な水質保全を図る。

3 事業目的を達成するための取組

- ①老朽化施設の改築更新（農業集落排水）
適切な汚水処理機能維持のため、ライフサイクルコストの低減を意識した施設・管渠の改築更新
- ②生活排水施設未普及地域の縮減（合併処理浄化槽）
中山間地域など下水道、農業集落排水等による整備が予定されていない地域において、合併処理浄化槽の設置者に補助を行う市町村を補助
- ③市町村等における下水道整備に対する助言・指導
市町村等が行う公共下水道又は特定環境保全公共下水道の建築・改築について、広域化も含め効果的・効率的なものとなるよう助言・指導を実施
- ④下水汚泥資源の肥料化の推進
汚泥を原料とする肥料等の安全性と有効性を検証するとともに、その結果を広く周知して農業関係者等の理解を促進

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	指標なし									
②	指標なし									
③	指標なし									
④	指標なし									

5 本事業が貢献する総合 5 か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近 3 か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
1-3①	社会的なインフラの維持・発展	汚水処理人口普及率	%	2022 (R4)	98.3	2023 (R5)	98.3	2024 (R6)	98.4	2027 (R9)	98.6

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R6年度	121,165	529,901	△ 147,769	503,297	128,899	434,988	7.0
R5年度	181,687	496,647	△ 53,541	624,793	129,270	449,048	7.0
R4年度	225,776	524,696	25,366	775,838	128,404	586,962	7.0

事業番号	06 04 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	■点検
事業名	生活排水施設整備事業（一般会計分）		部局	環境部	課・室	水道・生活排水課	

7 主な取組実績と成果

①老朽化施設の改築更新（農業集落排水）

市町村が運営する農業集落排水施設・管渠の改築更新に対して補助を実施し、適切な汚水処理機能の維持及びライフサイクルコストの低減を図った。



②生活排水施設未普及地域の縮減（合併処理浄化槽）

合併処理浄化槽の設置者に補助を行う市町村に対して補助を実施し、中山間地域など下水道、農業集落排水等による整備が予定されていない未普及地域の縮減を図った。

合併処理浄化槽の設置



③市町村等における下水道整備に対する助言・指導

水道・生活排水事業担当者会議、市町村下水道主管部課長会議を開催し、市町村へ国土交通省の下水道事業の最新の動向や社会資本整備総合交付金の手続きに係る留意事項を説明。

今後の生活排水事業の広域化・共同化計画の推進に向け、各地域の自治体が連携して課題を解決できるように、生活排水行政に係る広域連絡調整会議を県内10ブロックで開催した。

④下水汚泥資源の肥料化の推進

県内の生活排水処理事業で発生する汚泥資源の肥料化等により農地での利用拡大を図るため、汚泥を原料とした肥料等の安全性と有効性を検証するため、汚泥の成分分析及び栽培試験を実施した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①～④	指標なし	R5年度推移	R6年度推移	達成状況

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・下水道事業計画区域（または全体計画区域）において未整備区域が残っている市町村（事業主体）がある。
- ・「長野県生活排水処理構想」で掲げた、県全体の短期、中期及び長期目標を達成できるよう、老朽化が進んだ施設の効率的な更新など、人口減少下においても持続的な事業運営を図る必要がある。
- ・汚泥の利用拡大に向け、汚泥肥料の特性把握や安全性、有効性を確認するために栽培試験等をさらに行う必要がある。また、下水汚泥資源の肥料化を図るため、肥料登録に要する植害試験等を行う必要がある。検証結果をとりまとめ、農業関係者等に広く周知し、理解を促進する必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・「長野県生活排水処理構想」に基づき、持続的な運営を図るため、コスト比較等による下水道への統廃合を検討しつつ、計画的な改築更新を推進していく。
- ・中山間地域など下水道、農業集落排水施設等による整備が予定されていない地域において、早期に浄化槽の設置をするよう市町村に指導するほか、集合処理が適当でない下水道整備区域においては補助金の活用等による浄化槽整備を検討するよう市町村と連携して取り組む。
- ・汚泥肥料に含まれる重金属が農地に蓄積することが懸念されることから、重金属モニタリング調査を実施し「有機質資材適正施用ガイドライン」の改定について検討する。

事業番号	06 04 01	細事業一覧（令和6年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	生活排水施設整備事業（一般会計分）		部局	環境部	課・室	水道・生活排水課	

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	農業集落排水事業費		468,189 千円	329,883 千円	316,920 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	農業集落排水施設等の改築、調査計画及び施設計画	補助金	改築（機能強化対策及び強靱化）：定率補助 調査計画の策定：定率補助 適正化計画等の策定：定額補助		
			改築：6市町12地区 調査計画・適正化計画等：11市町村12地区		
2	（一社）地域環境資源センター負担金	負担金	農業集落排水施設に関する技術開発、調査・研究を行っている（一社）地域環境資源センターへの負担金		
			負担金：90千円		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	浄化槽対策事業費		118,773 千円	110,750 千円	98,208 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	合併処理浄化槽整備事業補助金	補助金	中山間地等下水道、農業集落排水施設等による整備が予定されていない地域において、合併処理浄化槽の設置者に補助を行う市町村に対し補助を行う。		
			補助対象：52市町村、741基		
2	浄化槽台帳システム管理業務委託	委託	浄化槽台帳を整備・活用することにより、浄化槽の適正な維持管理について適切に指導等を行うため、設置情報、管理者、維持管理及び指導状況等の情報を入力管理する。		
			維持管理、届出情報等台帳入力（届出情報：3,769件）		
3	浄化槽放流水水質検査委託	委託	浄化槽法第53条第2項の規定により実施する浄化槽の立入検査において、浄化槽の管理者に的確に改善指導等を行うため、浄化槽放流水の水質検査を実施する。		
			検体数：470検体		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	下水道計画総務費		0 千円	8,415 千円	19,860 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	木曽川流域別下水道整備総合計画委託	委託	木曽川流域における公共用水域の水質基準を維持するため、現行計画の期間満了に合わせ目標年次を令和20年度とした新たな計画を策定する。		
			－		
2	生活排水処理構想マニュアル策定（検討委員会）	直接	次期生活排水処理構想の改定に当たり、関係機関や有識者による検討委員会を開催し、当該構想策定のためのマニュアルを策定する。		
			生活排水処理構想作成マニュアル（案）を作成		
3	下水汚泥資源の肥料化の推進	直接	下水汚泥資源の肥料化を推進するため、汚泥肥料の有効性や安全性に係る試験を行う。		
			試験件数：成分分析 2件、植害試験 2件		